



【教育目標】 自らの可能性を信じ、努力することのできる生徒を育成する。
【一学校一改善】 ルールメイキング (継続) 先手あいさつ 一人一入賞

感動の体育大会終わる

競技の部：白団優勝 応援の部：青団優勝

「感動しました。」
昨年度、一昨年度の体育大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、短縮して(午前中のみ)の開催でしたが、本年度はできるだけ多くの競技に取り組んでもらいたいという思いのもと、競技数をできる限り増やして準備を進めてきました。しかし、台風の影響で、残念ながら、プログラムを一部削除し短縮しての実施となりました。それでも、生徒の皆さんの熱い思いが表現されたすばらしい体育大会でした。大会の日時変更や当日のお弁当作り、大会の運営、感染症対策を行いながらの参観など御理解と御協力をいただき誠に有難うございました。

素晴らしい生徒の姿

- 各種競技に対して、自分のもてる力を精一杯出し切ろうとする生徒
- 各係の活動を一生懸命に行い大会を支えてくれた大会役員の生徒
- 体育大会スローガンの発案から体育大会当日まで、熱いメッセージを送り続けてくれた生徒会
- ひたむきに熱心に取り組んだ素晴らしいエール交換と演舞で、体育大会を盛り上げ、各団をしっかりとリードしてくれた応援団

実りの秋に

朝晩はめっきり涼しくなり、文字通り「実りの秋」にふさわしい学習を行う時期となりました。
「学び」というものは、新しい発見が生まれ、今までにない新しい自分が創造されていくわけですので、楽しいものであるはず。どんな競技であれプロの選手は、毎日、何度も同じ練習を繰り返します。義務感だけで練習しているとすれば、長続きはしませんし、身にも付かないでしょう。目標をもって、その練習を繰り返す。そこには、新しい発見があったり、少しずつ成長する自分の姿が確認できたりするからこそ、長続きするのだらうと思います。
「学び」も同じことです。「こうしたい」「こうなりたい」となりたい自分をイメージして明確な目標をもち、変化していく自分、新しい自分を確認できれば、「学び」が楽しくもなり、長続きしていくものと思います。ぜひ、日々の授業や家庭での学習に明確な目標をもち、「学び」を継続させることにより、新しい自分を見出し、成長してほしいものと思います。

全校朝会より(『挨拶』でつなぐ心と心)

今日の全校朝会の私の話の「テーマ」は、「『挨拶』でつなぐ心と心」です。
「出会った人が互いに心を開いて相手に迫っていく」ということが「挨拶」の意味といわれています。「挨拶」とは、「心を開き、同じ場所で、同じ時を生きる仲間として認め、信頼関係を築いていく大切な一瞬である」とも言えると思います。
その人と、せっかく同じ時間・同じ空間を過ごすのであれば、出会ったときに、まず、その人が今どういう状態にあるのかを知って、相手との関係をより良くつないでいく積極的な方法として「挨拶」というものを捉えたいものです。
「挨拶」とは、目の前の相手と良い人間関係を築いていくための第一歩です。生徒の皆さん同士、そして、皆さんと私たち、お互い「心の通い合う、すがすがしい『挨拶』をかわしたいものです。